



事務職員部 グラウンドフェスティバル開催！

事務職員部は、組織の強化と拡大に向けた取り組みとして、11月25日、舞洲スポーツアイランド中央運動場にて「グラウンドフェスティバル」を開催しました。当日は、60人を超える組合員や、その家族が、秋晴れの空のもとに集まり、交流を深めました。第1部は、“スポーツの秋！”ということで、子どもから大人までみんなで楽しめる簡単なゲームや軽スポーツを行いました。その後、第2部は“食欲の秋！”としてBBQを行い、美味しい食事でお腹を満たしました。

少し寒さもありましたが、簡単な運動ですぐに体も暖まりました。また、美味しい食事を囲むことで話しもはずみ、組合員どうしの交流を深める良い機会となりました。事務職員部では、冬に向けて、各地区で学習会や職場集会、レクリエーションなどを実施し、これまでの経過や課題と今後の取り組みを共有する場を数多く予定しています。多くの組合員の参加をお待ちしております！



女性部 「カムバックセミナー」



女性部は12月2日(土)、大阪市教育会館においてカムバックセミナーを行いました。昨年度に職場復帰をされた先輩ママからは、「管理職や同僚に自分の状況を伝え、理解してもらおうようにコミュニケーションをとっている。」「家族と家庭の仕事を分け合って、家の中がしんどくならないようにしている。」とのお話がありました。また、独身時代とは働き方が全く変わるので、できないことが増えて悩んだそうですが、「～まではしよう」と、働き方を変えたそうです。

後半は、吉川副委員長から育児休業制度について詳しい説明があり、制度をまとめた冊子も配布され「自分の生活のために『権利を正しく知って、正しく使って』」と、エールがありました。産育休を経て、職場復帰を考えている組合員の皆さんの心配や不安を少しでも解消できていれば幸いです。

養護教職員部 交流 & 学習会

12月2日、大阪市教育会館において、養護教職員部交流&学習会「助産師さんと一緒に性教育を学ぼう」を開催しました。今回は、組織拡大をはかるため、未組合員にも参加を呼びかけて実施しました。講師には、大阪府助産師会西成班の松浦洋栄さんをお招きし、心に響くお話をたくさんしていただきました。子どもたちへの配慮を忘れない“性教育の原点”を再確認することができた学びの深い学習会でした。

(講演より一部抜粋)

- ・胎児はへその緒を自分でのばして胎盤につないでいく。(赤ちゃん自らの力で生きようとしている)
- ・哺乳類の特徴は群で生きること。人間も誰かとつながって生きている。
- ・性の多様性のことで悩んでいる子どももいる。「自分がいてもいいんだ」と思えるような性教育を。

参加者からは、「性の話をする際にどのように表現すればいいか、どのように説明すればいいか悩む。劇をとりいれる方法や具体的な話し方など聞いてよかった。」「松浦さんのお話を聞いて温かい気持ちになりました。助産師さんならではの内容を紹介していただき学びの深い時間でした。」など多くの感想がありました。

交流会では、健康診断や保健行事、日々の業務の中で困ったこと等について交流しました。同様の悩みがあることを共有でき、少数職種である養護教職員だからこそ繋がることのできた交流会でした。



広報部メモ

12月5・6日に学力経年調査が実施された。小学校3年生にとっては初めての経験。4教科と質問用紙はかなりの負担で、子どもたちはグッタリしていた。

50問余りの質問用紙を終えた後、子どもたちが言った一言「僕らの何が知りたいねん！」

本当にそう思う。子どもたちの苦勞が報われるようにと願うばかり。と言うか、この調査、本当に必要ですか？ (m)

1月の組合費の引き落としは

1月22日(火)

※働きがいのある職場を実現するため、なかまの声かけて組合員を増やしましょう！

～ 栄養教職員相談会 ～

栄養教職員部は、12月8日(金)、市教組本部会議室にて「栄養教職員相談会」を開催しました。「給食施設の老朽化の対応について」「民間委託会社の人手不足による栄養教職員の負担について」「栄養職員のための研修の必要性について」などの相談がありました。これらの意見をもとに、栄養教職員部では組合員の悩みが解消するよう、本部とともに取り組みをすすめていきます。



組合豆知識…なぜ市教組は「特別支援学級」じゃなくて「障がい児学級」って言うてるの？

「障害」「障害」「障がい」…(大阪教組は「しょうがい」)。時代とともに表記の仕方は変わってきていますが、インクルーシブでない社会や有形無形のバリアが、当事者に不便さや生きづらさといった「障がい」を感じさせているのではないのでしょうか。

学校現場でも同様で、本人が必要とする支援があれば、仲間と同じように過ごせるはずなのに、そうなってはいません。1970年代まで「就学猶予・免除」の名の下に、施設や人的配置など受け入れ体制の整っていない学校では、障がい児童・生徒の入学拒否が公然と行われていました。学校に行くためには、地元を離れて養護学校(現在の特別支援学校)や養護学級(文部省では「特殊学級」)の設置されている学校に入学することを余儀なくされていたのです。一方、大阪では地域の子どもは地域で育てる「地域校区保障」と、障がい児が健常児とともに普通学級の中で1日を過ごす「原学級保障」の取り組みが広がりつつありました。地元の学校で受け入れるためには、養護学級を設置し、教員を確保する必要があります。しかしながら私たちの先輩方には、障がい児と健常児を分けて教えることが前提の養護学級や特殊学級という名称は受け入れ難いものでした。児童・生徒の個性や特性が、不十分な教育環境により障がいを感じざるをえない状態となっているとの視点から、「障害」児や「障害児」の表記がされるようになり、「障害児学級」設置の運動が展開されました。

ところで、2007年度から始まった「特別支援教育」は、サマランカ宣言に出てくる Special Needs Education を翻訳した語ですが、SNE が国際的にはインクルーシブ教育を指すのに対し、文科省は「Special Needs (特別な必要) に応える教育」として曲解し、それまでの分離教育(文科省では「特殊教育」)を「継承・発展」させるものとして特別支援教育を定義しました。「分ける教育」が前提の特別支援教育は「分けない教育」のインクルーシブ教育とは全く別物です。

市教組がめざしているのは「ともに学び、ともに育ち、ともに生きる」インクルーシブ教育です。先輩方が思いを込めた「障がい児教育」「障がい児学級」を引き継いでいます。

= 1月の取り組み =

◇ おとなの民族学級体験

日時	1月13日(土) 10:00～	場所	旧大阪朝鮮第四初級学校
内容	・民族歴史資料室見学 ・ドキュメンタリー「みれいろ」鑑賞 ・調理活動(キムパプとチヂミ) ・昼食交流会		
参加費	500円(食材費)		

◇ 大阪教組養護教職員部 学習会

日時	1月13日(土) 15:00～	場所	たかつガーデン4F会議室
テーマ	「知ってほしい幼稚園や学校でフッ化物洗口!？」		

～知ってもらい、なかまを増やすことへ～

講師	井上 和子さん(奈良教職員組合養護教員部)
*今年度、大阪でも集団フッ化物洗口導入の動きがありました。奈良教組から集団フッ化物洗口が注視に至るまでの取り組みについてお話していただきます。	

◇ 大阪城周辺フィールドワーク(北部支部主催)

日時	1月20日(土) 14:00集合 14:15出発
集合場所	JR「森ノ宮」駅 北改札を出て「ベーカリー神戸屋」の辺り
講師	橋口 哲さん(元大阪市小学校教員)
参加費	250円(ピースおおさか入館料)

*女性部長の方の積極的なご参加をお待ちしています!(支部女性部より)

※ 上記3つの取り組みの参加申込みは、市教組本部までお電話ください。
(06-6942-3561)

◇ 各支部評議員会

北部支部	1月18日(木) 18:15～	大阪市生涯総合学習センター第1研修室
東部支部	1月17日(水) 18:15～	エルおおさか南館734号室
南部支部	1月15日(月) 18:30～	大阪市社会福祉センター3F
西部支部	1月18日(木) 18:30～	西成区民センター会議室2-1

* 重要な機関会議ですので、分会から評議員の選出・出席をお願いします。
校務等でどうしても出席できない場合は、必ず委任状を提出してください。